

海洋調査技術学会

2015事業年度

第27回通常総会

日時：平成27年11月12日（木）

12:30～13:15

場所：海上保安庁海洋情報部 10階国際会議室

海洋調査技術学会
第27回通常総会
議事次第

日時 平成26年11月12日(木)
13時30分～14時30分
場所 海上保安庁海洋情報部 10階国際会議室

1. 開 会

2. 特別表彰について

3. 議長選出

4. 議 事
- | | |
|-------------------------------|-------|
| (1) 2014事業年度事業報告について (第1号議案) | 承認事項 |
| (2) 2014事業年度決算報告について (第2号議案) | 承認事項 |
| (3) 2015事業年度事業計画案について (第3号議案) | 承認事項 |
| (4) 2015事業年度予算案について (第4号議案) | 承認事項 |
| (5) 2015事業年度表彰について | 報告事項1 |
| (6) 2015事業年度評議員及び役員について | 報告事項2 |
| (7) その他 | |

5. 閉 会

2014事業年度事業報告案
(2014.10.1~2015.9.30)

1. 総会及び委員会等

(1) 第26回総会の開催

期日 2014年11月12日

場所 海上保安庁海洋情報部10階国際会議室

議題 2013事業年度事業報告及び決算報告について
2014事業年度事業計画案及び予算案について

(2) 評議員会、各委員会の開催

下記の会議を開催した。会議はメール会議も適宜実施した。

ア) 評議員会

期日 2015年 9月 8日~18日

場所 メール会議

イ) 総務委員会 (拡大総務委員会)

期日 2015年 8月 4日~21日 (拡大総務委員会)

2015年 9月11日~18日 (拡大総務委員会)

2015年 9月14日~25日

場所 メール会議

ウ) 企画委員会

期日 2014年 6月 9日

場所 (一財)日本水路協会

エ) 編集委員会

期日 2014年11月10日

2015年 2月 6日

2015年 4月23日

2015年 7月24日

場所 (一財)日本水路協会

2. 研究成果発表会及び講演会等

(1) 第26回研究成果発表会

期間 2014年11月12日~13日

場所 海上保安庁海洋情報部

特別講演 1件

特別セッション 4件

発表 12件

ポスターセッション 6件

(2) 機器展示会

期間 2014年11月12日~13日

場所 海上保安庁海洋情報部

参加数 8社(会員6社、非会員2社)

(3) 一般講演会(海洋調査技術の啓発、地方講演)

実施なし

(4) 出前講座(海洋調査技術の啓発、関東地方)

実施なし

(5) 講演会、シンポジウム等の共催

実施なし

3. 学会誌

海洋調査技術第27巻1号(通巻53号)(2015年3月)

海洋調査技術第27巻2号(通巻54号)(2015年9月)

4. ニュースレター

第56号(2014年10月)

第57号(2015年3月)

第58号(2015年9月)

5. HP運用・メールマガジンの配信

HP URL: <http://jsmst.org/>

学会関連情報等をメールマガジンを利用して会員に配信した。

6. 講演会・シンポジウム等への協賛

(1) 第55回海中海底工学フォーラム

主催 海中海底工学フォーラム運営委員会

期間 2015年4月10日

場所 東京大学生産技術研究所

(2) 可視化情報シンポジウム2015

主催 一般社団法人 可視化情報学会

期間 2015年7月21日、22日

場所 工学院大学新宿キャンパス

(3) 第25回海洋工学シンポジウム

主催 日本船舶海洋工学会、日本海洋工学会

期間 2015年8月6日～7日

場所 日本大学理工学部駿河台キャンパス1号館

(4) 可視化情報全国講演会(京都2015)

主催 一般社団法人 可視化情報学会

期間 2015年10月10日、11日

場所 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス

(5) 第56回海中海底工学フォーラム

主催 海中海底工学フォーラム運営委員会

期間 2015年10月16日

場所 東京大学柏キャンパス情報基盤センター
東京大学大気海洋研究所講堂

7. 会員数の動向
別紙のとおり

2014事業年度の会員数の推移について

(2015年9月30日現在)

1. 正会員

年度当初の会員数	320名	(うち学生会員	6名)
年度内の入会者数	13名	(うち学生会員	2名)
年度内の退会者数	19名	(うち学生会員	2名)
年度内の物故会員	3名		
年度末の会員数	311名	(うち学生会員	6名) : 9名減

2. 賛助会員

年度当初の会員数	45社
年度内の入会者数	1社
	(愛一工業 (株))
年度内の退会者数	0社
	()
年度末の会員数	46社

2015事業年度の通常総会への案内状送付数

正会員数 311名 (うち学生会員 6名)

賛助会員数 46社

2014事業年度決算報告 (2014. 10. 1～2015. 9. 30)

<一般会計>

(収入の部)

(単位：円)

科目	予算額	決算額	備考
前年度繰越金	4,282,725	4,282,725	
会費収入	2,618,000	2,592,675	
正会員会費	1,268,000	1,241,700	納入：312名(うち、学生会員8名、EMEMビーターファイナンス38名)
賛助会員会費	1,350,000	1,350,975	納入：45社(EMEMビーターファイナンス3件)
事業収入	478,000	825,512	
広告掲載料	48,000	32,000	納入：2社
機器展示料	210,000	605,000	納入：17社(うち、2013年分10件)
要旨集代金	130,000	98,000	
諸出版物代金	90,000	90,512	学会誌バックナンバー等
雑収入	202,500	186,758	懇親会収入(¥157,500)、利子等
懇親会収入	192,500	168,000	@3,500×45人
雑収入	10,000	18,758	利子等
合計	7,581,225	7,887,670	

(支出の部)

(単位：円)

科目	予算額	決算額	備考
事務費	1,300,814	1,263,245	
会議費	100,000	84,585	各委員会(出席旅費)等
賃金	78,000	73,500	アルバイト代金
査読謝金	30,000	24,000	学会論文査読等
通信運搬費	220,000	236,682	会誌発送、ネット料金等
諸印刷費	60,000	64,518	封筒、コピー代
消耗品費	50,000	19,425	文具代等
事務委託費	722,814	729,540	毎日学術フォーラム事務委託費
雑費	40,000	30,995	振込手数料等
事業費	2,790,000	3,059,748	
会誌印刷費	1,200,000	1,626,480	会誌年間2号発行
発表会運営費	350,000	384,342	謝金・交通費・レンタル機材・賞品代・弁当代・盾代・事務委託費
要旨集印刷費	170,000	173,880	要旨集代金
地方講演費	150,000	0	
出前講座費	0	0	
名簿印刷費	620,000	575,046	
30周年記念事業 繰出	300,000	300,000	特別会計へ
雑支出	200,000	192,500	懇親会費
懇親会費	200,000	192,500	
予備費	100,000	54,000	
次年度繰越金	3,190,411	3,318,177	
合計	7,581,225	7,887,670	

<30周年記念事業基金特別会計>

(収入の部)

(単位：円)

科目	予算額	決算額	備考
前年度繰越金	1,500,000	1,500,000	
一般会計からの繰入	300,000	300,000	
合計	1,800,000	1,800,000	

(支出の部)

(単位：円)

科目	予算額	決算額	備考
事業費	0	0	
次年度繰越金	1,800,000	1,800,000	
合計	1,800,000	1,800,000	

海洋調査技術学会

2014事業年度監査報告

監査の結果、2014事業年度「一般会計」及び「特別会計」は、適正に処理されていることを確認しました。

平成27年10月29日

会計監査氏名 中川 一郎 (印)

会計監査氏名 中 野 隆 夫 (印)

2015事業年度事業計画案
(2015.10.1～2016.9.30)

1. 総会及び委員会等

- (1) 第27回総会の開催
期日 2015年11月12日
場所 海上保安庁海洋情報部
- (2) 評議員会の開催
期日 2015年11月12日
場所 海上保安庁海洋情報部
- (3) 拡大総務委員会の開催
適 宜
- (4) 総務、企画、編集、広報委員会の開催
適 宜

2. 研究成果発表会及び講演会等

- (1) 第27回研究成果発表会
期間 2015年11月12日～13日
場所 海上保安庁海洋情報部
- (2) 機器展示会
期間 2015年11月12日～13日
場所 海上保安庁海洋情報部
- (3) 一般講演会（海洋調査技術の啓発、地方講演）
期日 未定（地方の要望等により実施）
場所 未定
- (4) 出前講座（海洋調査技術の啓発）
期日 未定（希望等により実施）
場所 未定
- (5) 講演会、シンポジウム等の共催
期日 未定（その都度共催）
場所 未定

3. 学会誌

- 海洋調査技術第28巻1号（通巻55号）（2016年 3月）
- 海洋調査技術第28巻2号（通巻56号）（2016年 9月）

4. ニュースレター

- 随時作成、送付

5. HP運用・メールマガジンの配信

HP URL : <http://jsmst.org/>

随時、学会関連情報等をメールマガジンを利用して会員に配信する。

6. 講演会・シンポジウム等への協賛

未定

7. その他

会員の拡大等について検討

2015事業年度予算案 (2015. 10. 1～2016. 9. 30)

<一般会計>

(収入の部)

(単位：円)

科目	予算額	備考
前年度繰越金	3,318,177	
会費収入	2,612,000	
正会員会費	1,232,000	納入：311名(うち、学生会員6名、EMEMビーマーファイナンス38名)
賛助会員会費	1,380,000	納入：46社 (EMEMビーマーファイナンス3件)
事業収入	539,000	
広告掲載料	64,000	納入：2社 × 2回
機器展示料	285,000	納入：8社(うち会員7社)
要旨集代金	100,000	
諸出版物代金	90,000	学会誌バックナンバー等
雑収入	193,500	懇親会収入(¥192,500)、利子等
懇親会収入	192,500	@3,500×55人
雑収入	1,000	利子等
合計	6,662,677	

(支出の部)

(単位：円)

科目	予算額	備考
事務費	1,303,000	
会議費	100,000	各委員会(出席旅費)等
賃金	78,000	アルバイト代金
査読謝金	30,000	学会論文査読等
通信運搬費	240,000	会誌発送、ネット料金等
諸印刷費	65,000	封筒、コピー代
消耗品費	20,000	文具代等
事務委託費	730,000	毎日学術フォーラム事務委託費
雑費	40,000	振込手数料等
事業費	2,370,000	
会誌印刷費	1,500,000	会誌年間2号発行
発表会運営費	350,000	謝金・交通費・レンタル機材・賞品代・弁当代・盾代・事務委託費
要旨集印刷費	170,000	要旨集代金
一般講演費及び出前講座費	50,000	
30周年記念事業 繰出	300,000	特別会計へ
雑支出	192,500	懇親会費
懇親会費	192,500	
予備費	150,000	
次年度繰越金	2,647,177	
合計	6,662,677	

<30周年記念事業基金特別会計>

(収入の部)

(単位：円)

科目	予算額	備考
前年度繰越金	1,800,000	
一般会計からの繰入	300,000	
合計	2,100,000	

(支出の部)

(単位：円)

科目	予算額	備考
事業費	0	
次年度繰越金	2,100,000	
合計	2,100,000	

2015事業年度表彰について

功労賞

受賞者

- 1 白崎 勇一（しらさき ゆういち）
 - ・経歴：
2005～2014 事業年度（10年間） 評議員
2009～2014 事業年度（6年間） 副会長
 - ・推薦基準
功労賞表彰規定第2条による
 - ・推薦理由 評議員を2005年より10年間、また副会長を2009年より6年間勤められ、当学会の発展に寄与された。
この業績は本学会にとって非常に顕著であり、功労賞候補として推薦したい。

- 2 中西 正男（なかにし まさお）
 - ・経歴：
2000～2014 事業年度（15年間） 編集委員

 - ・推薦基準
功労賞表彰規定第2条による
 - ・推薦理由 編集委員を2000年より15年間勤められ、当学会の発展に寄与された。
この業績は本学会にとって非常に顕著であり、功労賞候補として推薦したい。

- 3 道田 豊（みちだ ゆたか）
 - ・経歴：
2005～2014 事業年度（10年間） 評議員
2009～2014 事業年度（6年間） 副会長
 - ・推薦基準
功労賞表彰規定第2条による
 - ・推薦理由 評議員を2005年より10年間、また副会長を2007年より8年間勤められ、当学会の発展に寄与された。
この業績は本学会にとって非常に顕著であり、功労賞候補として推薦したい。

4 八島 邦夫 (やしま くにお)

・経歴:

2005～2014 事業年度 (10 年間) 評議員

・推薦基準

功労賞表彰規定第 2 条による

・推薦理由 評議員を 2005 年より 10 年間勤められ、当学会の発展に寄与された。

この業績は本学会にとって非常に顕著であり、功労賞候補として推薦したい。

技術賞

技術賞論文:

「観測帯域拡大に向けた高精度圧力計付き広帯域海底地震計の開発」
(海洋調査技術 26 巻 2 号掲載)

著者: 塩原 肇 (しおばら はじめ)

篠原 雅尚 (しのはら まさなお)

中東 和夫 (なかひがし かずお)

(東京大学地震研究所)

受賞理由:

本論文は、地殻変動を捉える目的で、温度とともに高精度の圧力測定が可能な地震観測システムを設計・製作し、かつ、紀伊水道や東北沖の実海域における観測での有効性を含めて、取り纏めたものである。

開発された観測機器は、海域における巨大地震を引き起こす断層運動を精度良く捉えるための、広帯域観測に大きく貢献する可能性がある。このため、本論文は今後の海域における地震監視体制において、重要な役割を果たすことが期待され、高く評価できる。

2015事業年度評議員及び役員について

評議員

浅田 昭	(東京大学生産技術研究所)
石井 春雄	((一財) 日本水路協会)
岩根 信也	((一社) 海洋調査協会)
植木 俊明	((株) 海洋先端技術研究所)
植平 賢司	(国立研究開発法人 防災科学技術研究所)
沖野 郷子	(東京大学大気海洋研究所)
海宝 由佳	(国立研究開発法人 海洋研究開発機構)
蒲生 俊敬	(東京大学大気海洋研究所)
久保田 隆二	(川崎地質 (株))
篠原 雅尚	(東京大学地震研究所)
徳山 英一	(高知大学海洋コア総合研究センター)
中野 健一	(日本海洋 (株))
永井 紀彦	((株) エコー)
長尾 正之	(国立研究開発法人 産業技術総合研究所)
藤田 雅之	(海上保安庁海洋情報部)
藤本 博巳	(国立研究開発法人 防災科学技術研究所)
松梨 史郎	((一財) 電力中央研究所)
森永 健司	(国立研究開発法人 水産総合研究センター 国際水産資源研究所)
山本 富士夫	(国立研究開発法人 海洋研究開発機構)
寄高 博行	(海上保安庁海洋情報部)

役員

会長	: 徳山 英一 (留任)
副会長	: 沖野 郷子 (新任)
〃	: 植木 俊明 (新任)
会計監査	: 中川 一郎 (留任)
〃	: 中陣 隆夫 (留任)
総務委員長	: 石井 春雄 (新任)
企画委員長	: 篠原 雅尚 (留任)
編集委員長	: 松梨 史郎 (留任)
広報委員長	: 岩根 信也 (留任)